

なかの 市議会だより

8月号

平成20年8月7日発行
No.13

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



北信3市議会議員研修会（6月30日 於 飯山市）

●市政一般質問	意見書案	事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
20件	1件 否決	2件 可決	1件 可決	10件 可決	2件 承認	2件 可決	3件 承認	16日間
							6月17日	6月2日

6月定例会



高齢者に負担増と差別医療を強いる、後期高齢者医療制度について

野口 美鈴

質問 導入後の中野市の現状と混乱続発をどう思うか。

答弁 年金天引き対象者は4千237人で4月の仮算定収入額は3千153万8千余円。75歳以上の医療費削減の試算額は、2015年度で2兆円、2025年度では5兆円と報道されているが中野市では試算していない。健康保険等の被扶養者数は把握していないが、保険料

るが、修正、手直しが必要。

質問 凍結、見直しでも根本は変わらず、システム変更や周知に混乱を招き財政負担もかかる。福祉切り捨て、医療費削減等お年寄りいじめとなるこの制度の廃止を求めるべきではないか。

答弁 必要な制度と考える。

統廃合ありきでなく、一人ひとりが大切にされる保育行政を求めて

質問 生後初めての集団生活である、0〜5歳児を定員210人もの大規模園にすることに無理がある。なぜ統廃合ありきか。多様なニーズには現在地か周辺でもそ

の気になれば対応は可能だ。

答弁 児童数減少を考慮し、近距離にある西町・みよし保育園を後年度負担や効率性からも統合し、広い施設や園庭、駐車場確保のため西条運動公園に設置。病児・病後児・休日保育等新たな保育ニーズに対応する。

質問 人間を育てる仕事に財政や効率を優先すべきでない。乳幼児が安心できる育ちを保障するには、100人規模までの園が適当と思う。保育現場の本音は、統廃合賛成ではないのではないか。

答弁 理解していると思う。

質問 保育料引き下げと正規保育士採用拡大について。

答弁 保育料は実質的に据

え置きを諮問。保育士採用は年齢構成等勘案し平等・公正・計画的に実施したい。

安全・安心の学校給食について

質問 食材が値上がりする中で市の対応はどうか。さけ難い負担増は行政の補助で質の低下を防ぐべきでは。また、調理部門の民間委託は今後とも導入しないこと。

答弁 できる限り安価な食材で、特殊パン・デザート等は回数を減らしたが質の低下がないよう、給食費見直しの検討を始めた。行政の補助は考えていない。当面は市直営方式で運営する。



中野市消防団を取り巻く環境について

深尾 智計

質問 組織改革等について。

答弁 消防団の統廃合は現在では考えていないが、これ以上団員確保が困難になれば、消防団と協議する。

質問 女性消防団員増に向けての対応はどうか。

答弁 広報誌やホームページ等で募集する。

質問 消防団協力事業所増加のための対応はどうか。

答弁 広報誌やホームページで紹介するとともに、拡大を呼びかけていきたい。

質問 住宅用火災警報器のアンケートの結果について。

答弁 5月末現在の回収数は4千531戸で設置率は15.3%である。

質問 情報発信について。

答弁 災害発生時のメール配信を平成19年から正副団

長、正副分団長に行っておりこの4月から希望する自動車班長へも配信している。

市営野球場ボールパーク化構想へ向けて

質問 今回の工事の全容について。

答弁 外野の芝の補修及び内野グラウンド整備については、老朽化及び機能劣化に伴い、平成18年度から計画的に進めている事業である。

質問 中野市にふさわしい新球場名の命名を。

答弁 ネーミングライツも含めて、検討していく。

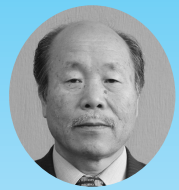
質問 ボールパーク化構想へ向けての考えはどうか。

答弁 訪れた方に「中野市へ来て良かった、また、行きたい」と思っていたことは重要であり、農産物を活用したおもてなしや、市内観光施設に立ち寄っていただけるようなPRも含めた中で、内容を検討する。

質問 今後の課題は。

答弁 球場内水路、バックネット、スコアボードの改修、駐車場の整備がある。

(注) ボールパークとは、
従来、野球場のことを英語でスタジアムと呼んでおり、ボールパークと呼ぶことはほとんどありませんでしたが、現在、球場の芝に天然芝を使用し、低いフェンス、プレーが観やすいよう内野に観客席がせり出した狭いフィールドゾーンなどを特徴とした、アメリカ・メジャーリーグの球場と同様の趣向を持つ野球場をボールパークと呼ぶことが多い。



国保特別会計の赤字解消策
について
高木 尚史

質問 2年連続で国保税を引き上げても2年連続で赤字となり、平成19年度決算をするために20年度予算から9千874万円を繰り上げ充用(補填)をした。赤字の原因はなにか。

答弁 あらゆる面からの研究を進めていきたい。

旧指定ごみ袋の使用について

質問 国保税の収納率の低下等により、収入不足によるものである。

質問 収納率が92%未満の場合、国庫補助金が5%カットされることになる。収納率92%を最低目標として取り組むべきだがどうか。

質問 18年度決算ではペナルティはなかった。収納率向上に努力したい。

質問 平成20年度決算の見込みはどうか。

質問 収支バランスが取れると見込んでいる。

質問 3年連続で国保税を引き上げたが、4年連続の引き上げはあるのか。

質問 連続の引き上げとならないよう赤字解消のため努力していきたい。

質問 赤字解消のための財政補填などの対応はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

答弁 平成17年度と20年度予算で比較すると、人件費で約4千200万円減、管理運営費で約1千200万円増の削減効果を見込んでいる。

質問 指定管理者からの事業報告書は様式を統一し、第3者評価を導入して公開をするなど、透明性を図るべきではないか。

質問 様式や評価方法は研究し、事業報告については公開の方向で準備したい。

質問 指定管理者の株式会社斑尾・豊田の両社長は青木一氏。市長も青木一氏で同一人物と協定書を結ぶことは、民法108条の双方代理の禁止規定に抵触しないか。

質問 中野市代表を副市長相手方を代表取締役社長青木一で契約している。今後検討をして、改めるところは改めていきたい。

質問 指定管理者制度導入効果と課題及び今後の契約について

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

質問 指定管理者制度導入効果はどうか。

傍聴席

★一般質問の傍聴にはたまに來ておりますが、議案質疑等のことについてお聞きしたのは初めてですが、中野市にも大変問題が山積し、市長様はじめ市職員のご活躍の

大変さを初めてわかった気がして、大変勉強になりました。

★質問議員に答える皆さんの発音が良くない。もつとはっきり発言して欲しい。

★本日傍聴席にて議会を傍聴させて頂き毎回全議案を



市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会の傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は、9月です。

が、半日に3回もの休憩は初めての経験。内容も理解できなかつたことは残念に思いました。

傍聴感想文の中から抜粋で載せさせていただきます。

議会だより編集委員長



ふるさと納税制度への 取り組み状況について

佐藤 恒夫

質問 この制度について市長はどのように評価し、また期待をしているのか。

答弁 「ふるさと」に貢献や応援をしたいという納税者の真摯な思いを実現する制度であると評価するとともに、ふるさとへのつながりを再認識する効果が期待できると考える。

質問 寄附金を適正に管理していくため、受け皿として新たに基金を設置する考えはないか。

答弁 既存の「中野市ふるさと振興基金」を活用する。
質問 寄附をいただいた後のフォローアップについては、どのように考えるか。

答弁 寄附された方に市を訪れていただくこと、市に住んでいただくことまでを見据えて、今後具体的に検討していく。

質問 県外在住者へのPRなど、積極的な広報活動を展開すべきではないか。

答弁 市独自のPR用チラシを作成して首都圏・関西の「ふるさと信州中野会」会員に送付した。「なかのバラまつり」の会場においても同様のチラシを配布している。また、広報なかの6月号にも掲載して、寄附の呼びかけを行っている。

道路橋梁の安全対策 について

質問 市が管理する道路橋梁のうち、早急に改修・修繕の対応をとる必要がある橋は何本あるのか。

答弁 建設年度の判明している橋梁52橋のうち、耐用年数を間近に控えるものは14橋である。

質問 市管理の全橋梁220橋を対象に早急に調査・点検を実施し長寿命化修繕計画を策定すべきではないか。

答弁 延長15m以上の38橋については本年度から橋梁点検の調査委託を実施し、長寿命化修繕計画を策定していく。延長15m未満についても、できるだけ早い時期に調査・点検を行い長寿命化修繕計画に反映させていきたい。

質問 財源の手当ても含めた、橋梁の改修に係る財政計画も併せて策定すべきではないか。

答弁 財政計画についても長寿命化修繕計画の策定に併せて検討していきたい。

中野市中央公民館、 中野市勤労青少年ホーム、 中野市働く婦人の家 に関して

質問 一つの建物の中に音楽室や調理実習室などが複数設置されている。個別の施設にこだわらず、建物全体を市民がより使いやすいレイアウトに変更していくべきではないか。

答弁 各施設の設定の経過を踏まえ、それぞれの施設の運営審議会等で検討していきたい。



総額約11億円の中野市地域 情報基盤整備事業について

青木 豊一

質問 テレビ北信以外のケーブル回線使用内容は。

答弁 地域公共ネットワーク分に28%、福祉支援等将来利用分に45%、利用できずに残る分6%である。

質問 福祉支援等は光ファイバーでどう行われるか。

答弁 一人暮らし老人への情報提供等支援ができる。
質問 テレビ北信はインターネット単独加入を認めて

いないが、どう対応するか。
答弁 インターネットの単独利用は現在できないので同社と協議していきたい。

質問 推進協でテレビ北信から加入促進について憂慮しているとの発言があったと聞かすが、11億円を投資した事業が何だったのか問われる。市長の考えはどうか。

答弁 事業も最終局面で、テレビ北信も加入促進に社をあげて行っていると思う。加入者増が期待される。

質問 幹線工事が現況7割引込み工事はこれからで現工期完了は困難と思うが。

答弁 幹線工事の遅れが引き込み工事の遅れになった。

食の安全・安定と地域基 幹産業の農業経営の発展 を指して



質問 長野市では、地域奨励作物支援を行い、収量kg当り小麦50円、大豆170円、ソバ150円の奨励金を出し、地産地消と遊休荒廃農

(注) ふるさと納税制度とは、個人住民税の一部を生まれ育った故郷の自治体などに納めることを可能とする制度で、2008年4月30日の地方税法改正により、従来の寄付金控除税制を拡充する形で導入されました。
都道府県・市区町村に対する寄附金のうち、5千円を超える部分について、個人住民税所得割の概ね1割を上限として、所得税と合わせて全額が控除されます。

地の解消に効果をあげている。研究・具体化すべきでは。
答弁 今後研究してみたい。

市内における非正規雇用等の実態と改善について

質問 これまでも正規雇用拡大と共に嘱託・臨時職員の待遇改善を求めてきた。本年度数年ぶりに改善されたが、年収200万円以下が

多い。嘱託・臨時職員の増大はワーキングプアの温床になる。改善を求めたい。
答弁 今後も、財政状況等考慮し、必要に応じて待遇改善を図っていききたい。
質問 本給で200万円以下の嘱託職員は83%。非正規化は、経済の停滞につながる。
答弁 正規職員を減した部分もあり、市民サービスの提供は、嘱託職員等にお願い



学校ほか公共施設の耐震化促進について

町 田 博 文

質問 このたびの国の支援強化を受けて、学校耐震化のスケジュールを加速できないか。
答弁 今年度で必要なすべての耐震診断を完了させる予定である。その結果、補強工事が必要となった建物については、来年度中に工事を完了させる計画である。
質問 保育園はどうか。
答弁 旧耐震基準による8園については、目視による調査を実施し、指摘事項について対応済みである。耐震診断、補強工事については、危険度に応じ、できるだけ早期に実施できるように

に検討していききたい。
質問 ほかの公共施設については、どのように優先順位をつけて行う予定か。
答弁 本年3月、中野市耐震改修促進計画を策定した。旧耐震基準の建築物は、176棟あり、このうち災害拠点施設・避難施設に指定され耐震化が必要な建築物は市役所本庁舎を含め、15棟である。これらの施設を優先し、平成27年度までに耐震化対策を完了させることとしている。市営住宅については、旧耐震基準の住宅が79棟ある。平成19年度から耐震診断を開始し、今後、

いし水準を維持している。
質問 保育士は正職員83人、嘱託80人、調理の正職員11人、嘱託12人である。同一職場で、賃金に歪みがあれば、安全な保育は大変困難だ。こうした職場での正職員増と嘱託職員等の賃金・待遇改善が必要ではないか。
答弁 必要な改善をしてきたが実態等研究してみたい。

中野市の契約について

質問 規制緩和が地域の貧困と格差を拡大したのに、花苗の契約では19年度購入費約48万円の84%を市外業者が受注している。地域性を踏まえるべきではないか。
答弁 市外から80%余購入したが価格が安い面もある。

順次実施していく予定である。平成27年度までにすべての市営住宅について耐震化対策を完了させることとしている。
地球温暖化防止対策として一斉ライトダウン運動の展開を

質問 地球環境問題等を主要テーマに、7月7日、日本を議長国として、北海道洞爺湖サミットが開催される。中野市として、この日に、ライトアップ施設や家庭などが連携して電力の使用を一定時間控えるライトダウン運動を展開したらどうか。ちょうど七夕の夜でもあり、各家庭が明かりを消して、天の川を眺めながら、地球の環境に思いを

ることを検討していききたい。
その他の質問

「ふるさと納税」と寄附条例制定について 長寿医療制度について

緑化苗木頒布会について

質問 苗木無償頒布事業の資金は、一般市民の方々から広く集めた「緑の募金」を活用したものであるため、できるだけ多くの方が参加できるように、実施日を日曜日または土曜日とし、実施場所を、例えば、中央・北部・西部・豊田の各公民館エリアごとに順番に実施していくことができないか。
答弁 今後は、曜日を交換したり、場所を変えて実施す



(注) 旧耐震基準とは、

昭和56年(1981年)6月1日の建築基準法改正により、現行の耐震基準による建築確認がなされていますが、それ以前に建築確認を受け、建設された建物には旧耐震基準が適用されておりです。

旧耐震基準は現在の耐震基準より低いので、十分な耐震強度が無い建物が多くあります。

総務文教委員会報告

条例の一部を改正する条例の専決処分の報告3件、予算案3件、事件案1件を12日に審査しました。

主なものは、専決処分の報告では、地方税法等の改正に伴い、市民税、固定資産税について改正を行った、中野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告については、ほかの2件の条例の専決処分の報告と同様、原案どおり承認されました。

予算案では、平成20年度

中野市一般会計補正予算

(第1号)について、国・県補助事業費の交付決定等に伴う事業予算化、事業費変更、財源組替のほか、人事異動等に伴う職員人件費の変更及び、これに伴う特別会計等への繰出金等の補正を行うもので、補正総額11億5千127万7千円を追加し、補正後の予算総額193億7千927万7千円とするもので、歳入のうち、国庫支出金、まちづくり交付金、地域住宅交付金4億715万3

民生環境委員会報告

特別会計補正予算の専決処分の報告2件、条例案1件、予算案4件、意見書案1件について、12日に審査しました。

主なものは、専決処分の報告では、平成19年度に見込んでいた国民健康保険税が減収となったことにより、平成19年度会計の歳入が歳出に対し不足を生じたため、この不足額について、平成20年度会計から9千874万円

千円の増額。県支出金、「地域発元気づくり支援金」等1千344万2千円の増額。財産収入、湯水対策基金積立金利子315万円の増額。寄附金、小学校費寄附金1万円の増額。繰入金、湯水対策基金繰入金、中野財産区事業特別会計繰入金4千387万8千円の増額。諸収入、湯水対策補償金等10億4千944万4千円の増額。市債、まちづくり交付金の計上に伴う財源組替等3億6千580万円の減額。歳出のうち、議会費では職員人件費12万2千円の

増額、総務費では、一般諸費で栗和田コミュニティセンター及び間山区三原組公会堂等の公会堂建設補助金543万2千円の追加、基金積立金で財政調整基金積立金8千303万2千円を追加、その他職員人件費等を含め、総務費全体で1億1千342万8千円の増額と財源組替。消防費では、職員人件費36万1千円の増額。教育費では、小学校費の教育振興費で、いただいた寄附金を財源とした学校図書を購入に1万円を追加、その他職員人件費等を含め、

教育費全体で533万4千円の増額。公債費では、市営住宅使用料充当に伴う財源組替であり、ほかの特別会計補正予算2件と同様、原案どおり可決されました。

事件案では、光ケーブルの鉄道施設横断に伴う関係機関との協議に時間を要したため、また、道路敷内の地下埋設管復旧工事が必要となったため、変更請負契約(工期延長)の締結を行う中野市情報基盤整備工事変更請負契約の締結については、可決されました。

を繰り上げ充用して補填するため、専決処分をした平成20年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告については、同様に、平成19年度国庫支出金の一部が、平成20年度へ繰り延べとなり、平成19年度会計の歳入が歳出に対し不足を生じ2千71万3千円を繰上充用し補填した、平成20年度中野市老人保健医療事業特

別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告と同様、原案どおり承認されました。条例案では、永住帰国した中国残留邦人等に対し、新たな支援給付が実施されることに伴い、所要の改正を行う中野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例案は、原案どおり可決されました。

別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告と同様、原案どおり承認されました。条例案では、永住帰国した中国残留邦人等に対し、新たな支援給付が実施されることに伴い、所要の改正を行う中野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例案は、原案どおり可決されました。

変更に及び、これに伴う特別会計等への繰出金等の補正で、民生費では、障害者福祉費で、自立支援システム改修委託料12万円の追加、希望の旅事業補助金10万円の追加、児童福祉総務費で子育て応援事業費45万4千円の追加、児童扶養手当費で児童扶養手当システム改修委託料99万8千円の追加、その他職員人件費等を含め、民生費全体で民生費全体では3千678万3千円の減額。衛生費では、公害対策費で、

「地域発元気づくり支援金」事業の採択を受け、放置廃タイヤ撤去支援事業補助金の財源組替その他職員人件費等を含め、衛生費全体で731万5千円の減額などであり、ほかの特別会計補正予算3件と同様いずれも原案どおり可決されました。

意見書では、「後期高齢者医療制度の廃止等を求める意見書」については、賛成少数で否決されました。

経済建設委員会報告

条例案1件、予算案5件、陳情1件について、12日に審査しました。

主なものは、条例案では、北陸新幹線高社山トンネル建設による湧水対策事業の円滑な推進を図るため、中野市湧水対策基金を設置するための、中野市湧水対策基金の設置、管理及び処分に関する条例案は、原案どおり可決されました。

予算案では、平成20年度中野市一般会計補正予算(第1号)について、人事異動に伴う職員人件費の

変更で、労働費では、職員人件費38万7千円の増額。

農林水産業費では、農業委員会費で、遊休荒廃農地研究委託料84万円の追加、市単耕地整備費及び市単水利用費で、「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴い、農道及び水路補修用として、原材料費等に、それぞれ75万8千円、26万6千円を追加。林業振興費で、「森林づくり推進支援金」の配分を受け、森林づくり事業費の緩衝帯整備委託料等に110万4千円を追加

し、その他職員人件費等を含め、農林水産業費全体では、1千302万2千円の減額。

商工費では、まちづくり交付金事業補助金が前倒しで交付されることとなったため、対象となった中野陣屋・県庁記念館改修工事に係る財源組替等を含め、職員人件費348万円の減額。土木費では、新幹線関連事業対策費で、湧水対策事業費として10億9千554万6千円の追加。道路橋梁費で、まちづくり交付金事業補助金が前倒しで交付されることとなったため、対象となった吉田西条線、南宮線、三好

町線西の事業費及び「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴う道路舗装事業費に係る財源組替等。都市計画費で、まちづくり交付金事業補助金が前倒しで交付されることとなったため、対象となった中町線沿道空間整備、旧中野小学校西校舎活用事業及び「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴う花のまちづくり推進事業費に係る財源組替等。住宅管理費で、国庫補助金の地域住宅交付金が増額採択となったことに伴い、市営住宅耐震診断委託料108万5千円の追加及び

町線西の事業費及び「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴う道路舗装事業費に係る財源組替等。都市計画費で、まちづくり交付金事業補助金が前倒しで交付されることとなったため、対象となった中町線沿道空間整備、旧中野小学校西校舎活用事業及び「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴う花のまちづくり推進事業費に係る財源組替等。住宅管理費で、国庫補助金の地域住宅交付金が増額採択となったことに伴い、市営住宅耐震診断委託料108万5千円の追加及び

■意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書

近年、地球温暖化が深刻な環境問題となる中でグローバル化する森林の役割に対する要請が高まるなど、環境資源としての森林に対

し強い期待が寄せられている。

一方、林業を取り巻く厳しい状況の中で、森林経営は脆弱化し、その担い手である山村は崩壊の危機に立っている。

このような中、森林整備を推進していくためには、森林所有者の森林経営意欲を創出するための施策の推進はもとより、民間による整備が困難な水源林等公益森林の整備に対する公的機関の役割の強化、更には、過疎化・高齢化が進む中で、

森林・林業の担い手である山村の再生に向けた積極的な取組が極めて重要となっている。

このような時期に、国有林野事業は、いわゆる「行政改革推進法(平成18年6月)」に基づき業務・組織の見直しが予定されており、また、旧(独)緑資源機構は「独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月)」に基づき平成19年度末で解散し、水源林造成事業等は(独)森林総合研究所に継承させる措置が講ぜられた

ところである。

よって中野市議会は、今後の林政の展開に当たっては、森林吸収源対策の推進はもとより、特に、国有林野事業等において、安全で安心できる国民の暮らしを守るために、重要な役割を果たす水源林等公益森林の整備、更には、地域林業・木材産業の振興を通じた山村の活性化に十全に寄与出来るよう、政府に対し下記事項の実現を強く要請するものである。

記

1 森林吸収源対策を着実に推進するため安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策の推進と森林所有者の負担軽減措置による森林経営意欲の創出

2 緑の雇用対策等森林・林業の担い手対策の拡充、林業の集約化、路網の整備等による効率的・安定的な木材の供給体制の確

保、更には木材のバイオマス利用の促進等により間伐材を含む地域材の需要拡大対策の推進による地域林業・木材産業の振興

3 計画的に水源林造成事業を含めた公的森林整備を推進するための組織体制の確保及び施業放棄地等民間による森林整備が困難な地域における国の関与の下での森林整備制度の創設

4 国有林野事業については、国民共有の財産である国有林を適正に管理するとともに、公益的機能の一層の発揮を図るため国による管理運営体制の堅持及びその管理運営を通じて地域における森林・林業担い手の育成と地域活性化への寄与

地上デジタル放送の受信対策の推進を求める意見書

地上デジタル放送は、既に2006年12月、全都道府県・全放送事業者の親局において開始され、国においても2007年11月30日

「デジタル放送推進のための行動計画（第8次）」を策定し、2011年7月の地上アナログ放送終了期限に向けて、最終段階の取り組みが行われているところである。

8次にわたる行動計画により、普及計画の目標に沿って進んではいるものの、放送事業者側及び視聴者側ともに多くの課題が指摘されており、今後3年余の間で、完全デジタル化に向けてあらゆる努力を傾注することが求められている。

とりわけ、地上デジタル放送への移行に伴う視聴者の負担問題については、経済的弱者への支援策が求められており、また、視聴者のデジタル受信機器購入やアンテナ工事、共同受信施設の改修等具体的行動について、理解を深め、支援する方策が求められる。

よって中野市議会は、政府に対し、左記事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望するものである。

記

1 視聴者側の受信環境整備に伴う負担を軽減するための方策を強力に進め

るとともに、生活保護世帯等経済的弱者への財政的支援について、早急に内容を検討し予算化すること

2 今後、地上デジタル放送に関する相談が飛躍的に増加することが見込まれるため、都道府県単位の相談窓口を整備し、直接的な支援をするなど、アウトリーチのサービス体制を整備すること

3 デジタル対応への移行に関して、難視聴地域解消のための共同受信施設のデジタル化などについて地方自治体の負担が生じる場合には、十分な財政的支援を行うこと。なお、実施時期等についても十分慎重な対応を行うこと

■陳情

◎陳情第3号 宅老所(小規模サービス施設)増築(新築)に伴う陳情

陳情者 有限会社 すまいる

代表取締役 小川 恵子 (中野市大字新野59番地1)

**議会改革
検討委員会**

「議会改革に関するアンケート」について

前回発行の議会だより5月号に挟み込み、実施いたしました「議会改革に関するアンケート」につきましては、ご協力をいただきました。ご回答いただきました事項につきまして、左ペー

ジのとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。なお、詳細につきましては、議会ホームページへ掲載いたします。

この結果を参考とさせていただきます。今後、議会改革検討委員会において、中野市の議員定数等について協議・検討を行い、委員会において決定した議員定数につきましましては、11月に予定しております地区での懇談会(詳細につきましては議会だより、ホームページ等でお知らせする予定です。)また、それと同時に行う予定のパブリックコメント制度により、再度市民の皆様からご意見を伺い、最終的な議員定数を決定して

いきたいと思っております。今後予定しております、地区での懇談会、パブリックコメント制度につきましてもご協力をお願いいたします。

議会だより5月号に挟み込みました、アンケート用紙の質問事項を掲載します。

質問項目

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 現在お住まいの地区
- I 議員定数について
現在の議員定数は
- 1 適当
- 2 少ない
- 3 多い
- II 議会の開催方法について
議会の開催時間等を
- 1 現在のままでよい
- 2 夜間なら傍聴したい
- 3 休日または祝日なら傍聴したい
- 4 いつ開催しても傍聴しない
- 5 その他
- 議会の開催場所を
- 1 現在のままでよい
- 2 豊田支所なら傍聴したい
- 3 北部・西部公民館なら傍聴したい
- 4 どこで開催しても傍聴はしない
- 5 その他

議会改革に関するアンケート 集計結果

集 計 数			
項 目	回 答 内 容	件 数	割 合
年 齢	20代	7	1.0%
	30代	24	3.3%
	40代	64	8.8%
	50代	147	20.3%
	60代	244	33.7%
	70代以上	226	31.2%
	無回答	12	1.7%
性 別	男	520	71.9%
	女	161	22.2%
	無回答	43	5.9%
地 区	中野	277	38.3%
	日野	34	4.7%
	延徳	56	7.7%
	平野	83	11.5%
	高丘	35	4.8%
	長丘	24	3.3%
	平岡	52	7.2%
	科野	29	4.0%
	倭	24	3.3%
	上今井	19	2.6%
	豊津	31	4.3%
	永田	31	4.3%
	無回答	29	4.0%
議員定数	1 適当	192	26.5%
	2 少ない（適当な議員数については次ページ）	18	2.5%
	3 多い（適当な議員数については次ページ）	504	69.6%
	無回答	10	1.4%
開催時間等	1 現在のまま	410	56.6%
	2 夜間	44	6.1%
	3 休日又は祝日	128	17.7%
	4 傍聴はしない	60	8.3%
	5 その他（内容については次ページ）	45	6.2%
	無回答	37	5.1%
開催場所	1 現在のまま	587	81.1%
	2 豊田支所	20	2.8%
	3 西部・北部公民館等	14	1.9%
	4 傍聴はしない	42	5.8%
	5 その他（内容については次ページ）	23	3.2%
	無回答	38	5.2%

アンケートは、6月30日までに受付したものを集計いたしました。（回答期限は6月10日でした。）

アンケート項目の
I 議員定数について
現在の議員定数は

2少ない
3多い

につきましては、適当と思
う議員数が記載されてお
りますので、左記に掲載いた
します。

「2少ない」と回答した
方が適当と思う人数は
・24人 2件 11・11%
・25人 2件 11・11%
・26人 8件 44・44%
・30人 3件 16・67%
・50人 1件 5・56%
・無回答 2件 11・11%
との回答がありました。

また、「3多い」と回答
した方が適当と思う人数は
・0人 1件 0・20%
・2人 1件 0・20%
・4人 1件 0・20%
・5人 1件 0・20%
・10人 10件 1・98%
・11人 4件 0・79%
・12人 3件 0・60%
・14人 1件 0・20%
・15人 52件 10・32%
・16人 11件 2・18%
・17人 15件 2・98%
・18人 11件 22・02%
・19人 24件 4・76%
・20人 209件 41・46%
・21人 24件 4・76%
・5〜10人 1件 0・20%

・12+α人 1件 0・20%
・15〜16人 3件 0・60%
・15〜18人 1件 0・20%
・18〜20人 6件 1・19%
・19〜20人 1件 0・20%
・20人以下 4件 0・79%
・無回答 19件 3・77%
となっております。

II 議会の開催方法について
議会の開催時間等を

5その他
5その他

議会の開催場所を
につきましても、個別に意
見がありますので、左記に
抜粋して掲載いたします。
議会の開催時間等につ
きましては、

・農繁期はさげたい。
・臨機応変に。CATVで
も傍聴可能。
・曜日を決めるのではなく
例えば1日〜10日という
風に土日も含めて通して
やったらよいと思う。
・市民の身になって考えて
くれるなら何時でも傍聴
したいです。
・議会棟を別にして市役所
の時間に合わせる必要は
ない。
・年に1回〜2回出来まし
たら休日開催を望みます
がその時は事前に知りた
い。無理した開催は望み
ません。どうしても傍聴

したい場合は平日でも参
ります。

・時間外開催になると予算
的（人件費などその他）
支出が多くなります。子
育て福祉など人間が生活
していくためにお金を支
出してください。

・たまには休日、祝日など
に開催されれば傍聴の人
も増えるかもしれないと
思う。
・時に夜間や休日開催を組
み合わせて実施する。

・移動議会などむだだと思
う。議会だよりの発行で
十分。
・豊田支所と両方で。
・全国初となると思うが、
公園で、日時知らせ、本
当の公開をしたら良いと
思う。

・場所は問いません。
・提出議案等により時には
公民館、支所等での開催
するのも良いと思う。
・場所は持ち回りでしたら
どうか。
・支所で年に1回開催。
・6ヶ月交代で実施。
・多数いただいたご意見の
中から、抜粋で掲載させて
いただきました。）

北信3市議会 議員研修会

(表紙写真)

去る6月30日、飯山市に
おいて、北信3市議会（須
坂市議会、中野市議会、飯
山市議会）の議員研修会が
行われました。

全国市議会議長会 法制
主幹の水出豊氏を講師に迎
え、「じょうずな一般質
問」と題した講演を拝聴し、
講演終了後、質問時間を設
け質疑を行い、活発な議論
が取り交わされました。

第2代後期議会だ より編集委員名簿

(順不同)

委員長	竹内 知雄
副委員長	高木 尚史
委員	清水 照子
町田 博文	林 紘一
西澤 忠和	佐藤 恒夫
沢田 一男	金子 芳郎
野口 美鈴	

あとがき

暑中お見舞い申し上げます。
月日が経つのは早いもの
で、6月定例議会が終わり、
早一か月半が過ぎました。
気がつくとも任期4年の折
返し点が過ぎ、暑い季節が
やってきました。

地球温暖化対策の対応を
メインとした、北海道洞爺
湖サミットが閉幕いたしま
したが、原油・食料価格の
高騰など、課題、問題を地
球規模の危機として考えて
いかなければならない時期
にきています。

諸課題、諸問題は、人間
が長い間に創り上げてきた
文化などの副産物であり、
人類一人ひとりがそのこと
を認識すべきではないでし
ょうか。

限りある本市の財源も市
民生活安定のために使われ
るよう、議員一同真摯に受
け止め、予算審議等真剣に
取り組んでおります。

これからも市民の皆様
のご意見、ご要望等お聞かせ
いただければと思っております。
また、議会の傍聴も
お待ちしております。

